

事業所における自己評価表

有限会社どれみ どれみⅡ

公表：2023年 12月 30日

事業所名 どれみⅡ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用者定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	○				
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			建物内は段差をなくしバリアフリーとしております。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務改善を進めるため、全職員がミーティングの場で計画から改善まで話し合いを行っています。	
	⑤	保護者等の向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			令和4年11月から12月にかけて、保護者様に事業所の評価をしていただきました。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やページ等で公開しているか	○			ホームページで公表しております。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		外部による評価は実施しておりませんが、今後機会があれば積極的に実施していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			最低月1回の職員研修を行っており、その都度報告書を提出しております。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○				
	⑩	子ども適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			全てのお子様へ6か月から1年に一度、S-M社会生活能力検査を行い、生活能力の評価を行っており保護者様とも共有しています。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			専門職を中心にプログラムの立案を全員で話し合い行っております。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			利用児の能力や特性に応じてプログラムの立案を行っております。また、年間スケジュールを立て必要に応じて変更しながら進めております。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇にはイベントを多くする。また、学校の宿題にも対応する。などの工夫をしております。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで個別支援計画を作成しているか	○			全てのお子様に対して、能力に応じた個別支援又はグループ支援を行っております。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日事業所内ミーティングを行っております。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りをおこない、気付いた点等を共有しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心にミーティングを行い、支援内容の振り返りを行っております。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証改善につなげているか	○				
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的なモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			全てのお子様とその保護者に対して6か月ごとのモニタリングを行っております。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか	○				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者と担当職員が参加しております。	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			支援計画やその他の情報の交換、担任や支援級の担任の先生の確認を新年度時に行っております。また、必要に応じて直接連絡を取らせていただいております。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等の連絡体制を整えているか	—	—	—		対象児なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援センターから情報収集し、お子様の理解に動いております。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	—	—	—		対象児なし
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて、連携を取らせていただいております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○			事業所を利用しない日には、児童クラブなどを利用している児童が多く、そこでの交流は出来ていますが、事業所としても交流はしていないので、今後交流の機会を考えていきたいと思っております。
	27	(地域自立支援)協議会等への参加しているか		○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			HUGシステムを使い、利用時にどの位目標に対しての支援が進んでいるか、を◎や△などで表記するとともに、コメントにてその日の様子をお伝えしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			今後はコンセンサスペアレンティング初級指導者の資格を持つ職員が中心となり家族支援を行っていく予定です。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			事業所見学时や契約児に説明させていただいております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談時や茶話会等で子育て等に関する質問に答えたりアドバイスをさせて頂いております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			全事業所保護者様対象の「おしゃべりの会」各事業所ごとの「茶話会」を定期的に開催しております。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に説明しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページ、HUG等で活動を発信しております。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			PCファイルはID/パスワードを入力することで管理しています。またSECURITY ACTION(二つ星)を宣言(情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度)を実施しております。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて、絵カードを用意したり、簡単な手話を使って伝え、時には、他の利用時にも共有し意思疎通が図れる工夫をしております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			地域の皆さんに開かれたイベントを行う等の活動を始めましたが、これからその機会をもっと増やしていければと考えています。
非常時等の対応	38	周知しているか緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎回、非常食の実食など災害時の生活の工夫も含めた訓練を実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に数回、虐待防止に関わる社内研修を行い社外研修に参加しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得たうえで個別支援計画に記載しているか		○		契約や面談時を利用し、身体拘束について保護者に説明しております。	現在記載するほどの該当者はありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○				
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有されているか	○			小さな事業でも「ヒヤリハット」を提示し、全事業所で共有しております。		